

ふれあい三の丸 かわら版

66号

令和6年3月15日発行
三の丸自治コミュニティ連合会

広報部

☎224-6600

街は生きています、 新たな三の丸を目指して

三の丸自治コミュニティ連合会

会長 渡辺 政明



今日も水戸
城大手門周辺
では、群馬ナ
ンバーなど県

内外の観光客らが、弘道館
や白壁通りなど水戸らしい
個性あふれる歴史景観を楽
しんでおり、また、去年七
月に開館した市民会館は、
目標の交流人口六十万人を
半年でクリア、この周辺も
新たな景色と魅力を創出し
ております。

今年の元日、能登大地震
により輪島市などが大被害
を被りましたが、人々は瓦
礫の街の復旧・復興に立ち
上がり、正しく街は生きて
いると強く感じました。

これまでの三の丸

水戸市の中心地区の一面
を占める三の丸地区は、明
治維新以来茨城県の県庁所
在地として大きな役割を果



水戸城大手門

たし、また黄門さんの故郷
として私たち三の丸住民の
誇りの地でもあります。
しかし、県庁の笠原移転
やバブル崩壊、そして商
業構造の変化などにより、
五十号通りの大型商業施設
が撤退し市街地区の活力が
徐々に失われました。
更に、地方分権の施策と
都市間競争の結果、県南地
域にはTXや高速道路路網が
整備され、これまで水戸市
が培ってきた県都としての
諸機能や権威が徐々につく
ば市など県南方面に移行し
つつ在りました。

黄門さんと水戸学の街

この流れの中、三の丸自
治コミュニティ連合会では、
平成十六年に人づくり
や街づくりのコミュニティ
計画のテーマを「黄門さん
と水戸学の街」と定め、官
民協働の理念に基づき、ま
ず二の丸周辺の白壁通りや
柵町坂下門などの歴史景観
事業に着手、その後、住民
の総意を結集し水戸城大手
門や二の丸隅櫓の復元と歴
史ロード「水戸学の道」の



市民会館とミトリオ周辺

整備に取り組み、三の丸地
区の個性や魅力の発信に務
め「水戸の誇り」の再生に
力を尽くしました。

これからの三の丸

少子高齢化が進む中、三
の丸地区の定住人口は、県
庁移転前の約八千人に回

復、また集合住宅や再開発
事業も数多く見られ、現在
宮下銀座やくろばね通りは
空き店舗待ちの人氣で経済
活動も順調に推移しており
ます。



わくわくミステリーサタデーの子どもたち

業エリアの二枚看板が整い
ました。

そして、この優良で個性
的な歴史や文化・芸術など
の地域資源の連携や交流事
業などの有効活用が強く求
められております。

街は人々の力によって築
かれ生きており、この誇り
あふれる三の丸地区を次世
代にしっかりと継いでいき
たいと願っております。

三世代ふれあい事業

三の丸高齢者クラブ会長 岡田 浩

三世代ふれあい事業は、三の丸高齢者クラブ連合会(二高連)が、自治コミ総務部、女性会、PTA等の協力を得ながら実施しています。地区内の高齢者と三の丸小学校の子供と保護者が行事を通して交流することにより、子供たちに高齢者の経験や知恵を伝え、高齢者の「生きがいづくり」を兼ね、明るく活発な地区になるよう行っています。



熱戦!「かるた大会」

なお、この事業は水戸市に補助金を申請し、その補助金を受けて実施しています。

九月三十日(土)
「三の丸かるた取り」と
「玩具作り」

「三の丸かるた取り」は高齢者一名・子供二名が一チームとなり、今年度は二十チームで対戦しました。子供たちの素早い動きに高齢者はたじたじでしたが、和やかな一時を過ごしました。

その後の玩具作りは「水鉄砲」「かざぐるま」「ゴム鉄砲」「折り紙」「お手玉」「アクセサリー」に分かれて、それぞれに高齢者に玩具作りを教えもらいながら楽しんでいました。特に、「ゴム鉄砲作り」と「アクセサリー作り」は人気があり、準備した材料がなくなるほどの大盛況でした。



「そば打ち」

最後に、紙ヒコーキを作って飛ばし、飛行距離を競って楽しみました。

「かるた取り」の上位チーム、紙ヒコーキ飛ばしの上位者に賞品授与を行い、楽しい一日を過ごしました。

十二月二日(土)
「そば作り」と「輪投げ」

「そば作り」は十テーブルに分かれ、各テーブルで一キ口を二回打ちました。

高齢者がこね鉢でそば粉をこね上げ、小分けにして子どもたちに手渡し、打ち粉を振りながら麺棒で伸ばし、薄くなったところで包丁で細く切り、そばに仕上げました。

本来ならば、けんちんそばにして試食するところですが、コロナ感染に配慮しパック詰めして自宅で召し上がっていただくことにしました。そば打ちの後は、

そば打ちをしたメンバーでチームを作り、輪投げを楽しみました。輪投げの成績上位チームに賞品授与を行い、三世代交流を楽しく行うことが出来ました。

権現さんの秋祭

東参道整備奉祝記念

東照宮芸会 会長 金子 欣訓

東参道整備奉祝記念、権現さんの秋祭誠におめでとうございます。

渡辺自治コミ会長、宮本宮司、宮下銀座商店会額賀会長のご支援、ご協力のもと、十一月十八日、総代会長 鹿野島を筆頭に約五十名が時代衣装をまとい、久野頭が率いる権現太鼓、百名からの神輿魁会の鯉淵会長のかげ声とともに、宮の下駐車場鳥居より上市二六一号(旧信金前)をへて、国道五〇号から宮下銀座商店街と大勢の観衆の拍手の中練り歩きました。

参道整備により、宮下銀座はもとより地域のご躍進を心よりお祝い申し上げます。



各部紹介

防 災 部

部長 浅野 利光



避難所 設営訓練

また、地球温暖化の影響も年々増加し、豪雨等の被害も増加傾向にあります。三の丸地区においても、那珂川流域で

す。 新年早々に、石川県能登半島を襲った激震により、甚大な被害がありました。 地震大国日本列島は、何時何処にでも災害が起こりうることを認識し、教訓にしなければなりません。私どもの水戸にも今後三十年以内に震度六以上の地震の発生確率が八十%との発表があります。

過去何度か起きた台風災害や東日本大震災では、避難者への対応などを地域住民の皆様とともに経験しました。災害時には、地域の防災組織としての役割が重要であると認識しております。三の丸自治コミ連合会として、毎年防災に関する訓練等を実施してまいりました。災害被害を最小化するには、自助による備えを行い、共助として助け合いの大切さ、そして公助として行政当局の迅速な公共支援が重要で

す。地域の皆様とともに安全で安心な地域づくりに務めます。



災害対策について

新年早々に、石川県能登半島を襲った激震により、甚大な被害がありました。

した。

地震大国日本列島は、何時何処にでも災害が起こりうることを認識し、教訓にしなければなりません。私どもの水戸にも今後三十年以内に震度六以上の地震の発生確率が八十%との発表があります。

民生委員会 活動紹介

池田 清美

私たち民生委員児童委員は、福祉事務所や社会福祉協議会、高齢者支援センター、学校などと連携して地域の見守り活動を行っています。一人暮らしの高齢者への訪問や、災害時避難行動要支援者の把握、困りごとな

社協だより

三の丸支部 活動について

(令和五年度後半)

支部長 星 由香子

◎福寿のつどい

令和五年九月二十四日(日)に『福寿のつどい』を開催しました。福寿のつどいは、長年行ってきた敬老会に代わり、前年度から始まった事業です。

事前に水戸市から提供された対象者名簿をもとに、三の丸地域にお住ま

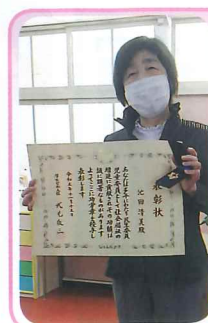
どの相談に応じています。また、子どもや子育てに関する支援を専門的に担当する「主任児童委員」がいます。不登校や虐待などの相談を受けた子ども居場所づくりもしています。何か困っていることがありましたら、どんな些細なことでも良いので、ぜひお近くの民生委員児童委員に声をかけてください。

いの七十五歳、八十歳、八十五歳、九十歳以上の対象者の皆様へ、記念品のクオカードと招待状をお送りし、ご出席のご返事を頂いた方々をお招きする式典形式で行いました。

当日は、来賓として高橋市長、渡辺三の丸自治コミュニケーション連合会会長、保立水戸市社会福祉協議会会長よりお祝いのおことばを頂くとともに、高齢者代表の岡田浩様からごあいさつを頂



きました。 次年度は、九月二十三日(月)に開催予定です。対象者の皆様におかれましては、奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。 ◎ひと暮らし高齢者慰問 十二月十四日(木)、例年通りに行いました。



受賞ありがとうございます 全国福祉大会 厚生労働大臣表彰 民生委員・児童委員功労者 池田 清美さん 日頃より様々な社会福祉に貢献され三の丸地域も大変お世話になっております。

ホットニュース

水戸スポーツ推進委員
宇留鷺友保



令和五年十月二十二日、五軒小学校にて中央ブロック球技大会が開催されました。コロナ禍により四年振りとなる開催で当地区からはソフトボールの部、ソフトバレーの部それぞれ一チームが出場しました。

両チームとも善戦し、ナイスプレーが続出しましたが、惜しくも優勝には及びませんでした。秋日影、参加した皆様の清々しい表情がとても印象的な大会でした。



令和5年度 フォトトピックス



生活環境部 花壇植込作業 6/7



福祉厚生部 高齢者施設見学 7/25



親子料理教室 7/27



黄門まつり 提灯行列 8/5



市民運動会 10/8



リーダー研修 福島県二本松 10/20



水戸学の道清掃 10/27



グランドゴルフ大会 11/19



歩く会「水戸学の道」 11/5



女性教養講座「大井神社」 12/19

「編集後記」

令和六年能登半島地震で犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

私にも何かお役に立てることがあるかと、思いめぐらせる毎日です。伊東